

学習支援や学校行事に係る学校支援活動

沖縄県沖縄市

活動名

越来小学校支援地域本部

関係する学校

沖縄市立越来小学校

活動区分	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
学校支援 地域本部	2人	83人	21年度	有
基本データ 放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
コミュニティ スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
その他				

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

○地域の歴史や文化的な学習指導の支援活動、総合的な学習の時間や生活科における地域学習指導、運動会・学芸会等の学校行事への地域人材活用。

- 地域の歴史や文化を学ぶ場や学習指導の充実を図るため、地域学習の拠点となる地域歴史資料館の設置および活用。歴史資料館の設置は、越来の歴史、琉球王国の歴史を理解し生きた文化と歴史を学ぶ上で大きな役割を担う。またそれは地域の魅力の再発見にも繋がる。地域の財産である子供達に伝えたい思いが形となった。資料の展示には、地域と人の工夫や知恵が詰まっている。地域と父母による手作り資料館のモノ・人の心に触れること、それこそが子供達の心の糧となる。
- 児童の基礎学力の向上を図るため、「学習ボランティア」を活用し、週時程に位置づけた朝の学習(週3回)、朝の読み聞かせ(週1回)を年間を通して計画、実施。
- 地域老人会や自治会による交通安全指導(見守り)を年間を通して実施している。
- 地域の方が講師となり地域学習や平和学習を実施している。
- 老人会や地域の方が講師となり、しまくとぅば(方言)指導を行っている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- 学力向上に係る取組として、多くの保護者や地域の方々による丸つけボランティアの活動。
- 地域の教育資源(歴史文化遺産<越来グスク跡>、地域人材等)を積極的に活用した児童生徒の健全育成を図る活動。(越来グスクに関わる歴史劇「越来城と白樺」の取組)シマクトゥバを次世代に身につけさせるため、史劇の中にふんだんに取り入れた。方言・演技指導は、地域の方々に協力してもらった。世代間の交流において、共同で文化を作り上げていく喜びや体験が歴史に興味を深める大きなきっかけとなった。それは、伝統と向き合う態度を養い、自らのアイデンティティの一翼を担うものとなったことである。
- 地域歴史資料館の設置および学習指導への計画的活用

【実施に当たっての工夫】

- 学校と地域との連絡調整を密にするため、地域連携室を設置した。
- 学校、保護者、地域自治会等との連携強化を図った。(学校のPTAに関わる組織を「PTA」から「PTCA」へ活動の幅を広げた)

事業を実施して

- 地域コーディネーターの積極的な関わりによって、学習支援が充実し子供達の学力(基礎的・基本的な事項)の向上が図られつつある。
- 地域の歴史や文化を深く学ぶ事ができ、子供達に地域の誇り、自信をもたせることができた。また、学校行事への地域コーディネーターの関わりによって、教師の業務の負担軽減につながっている。
- 学校と地域との信頼関係や協力関係がより深まった。(フレンドリーシップからパートナーシップへ)



歴史劇「越来城と城椿」



朝の学習「丸つけボランティア」